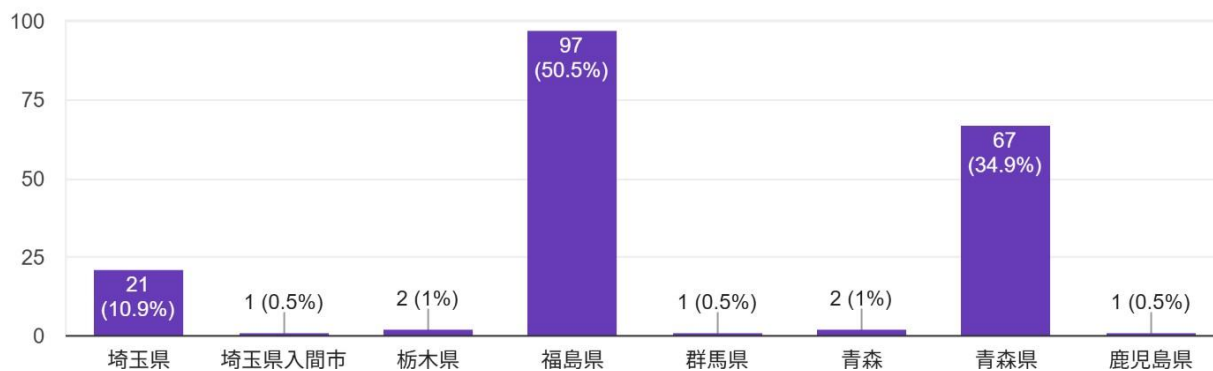


アンケート結果「保健室から見える子どもたち～メディアとの関わり」

* 記述回答以外のグラフ

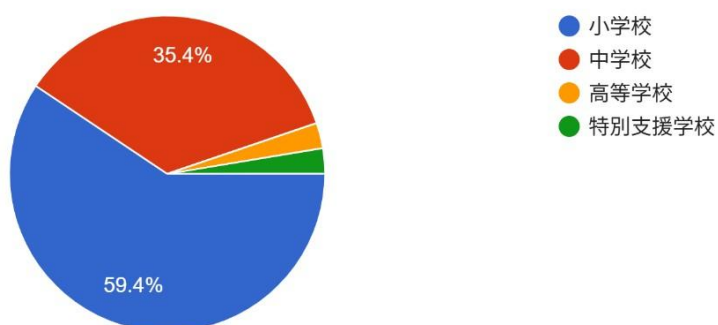
所在地（都道府県）

192 件の回答



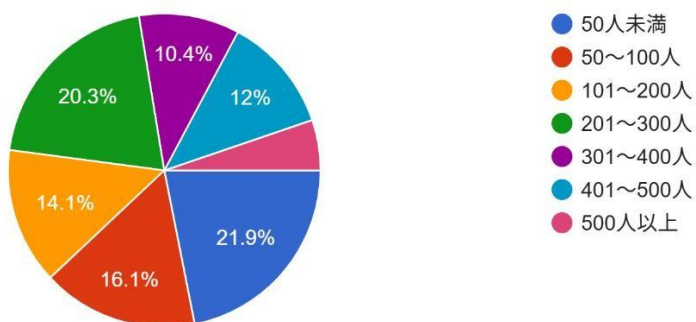
1 学校種

192 件の回答



2 児童生徒数

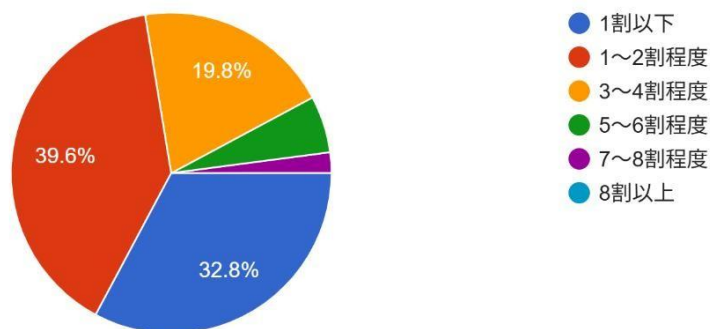
192 件の回答



3 今年度の保健室利用件数

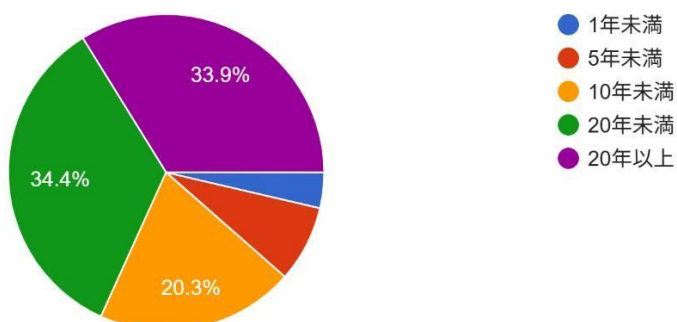
回答 192 校	平均	約 354 回
	最大値	1,780 回
	最小値	4 回

4 保健室に来る児童生徒で、インターネットやゲームいかとあなたが感じる割合はどのくらいですか。 192 件の回答

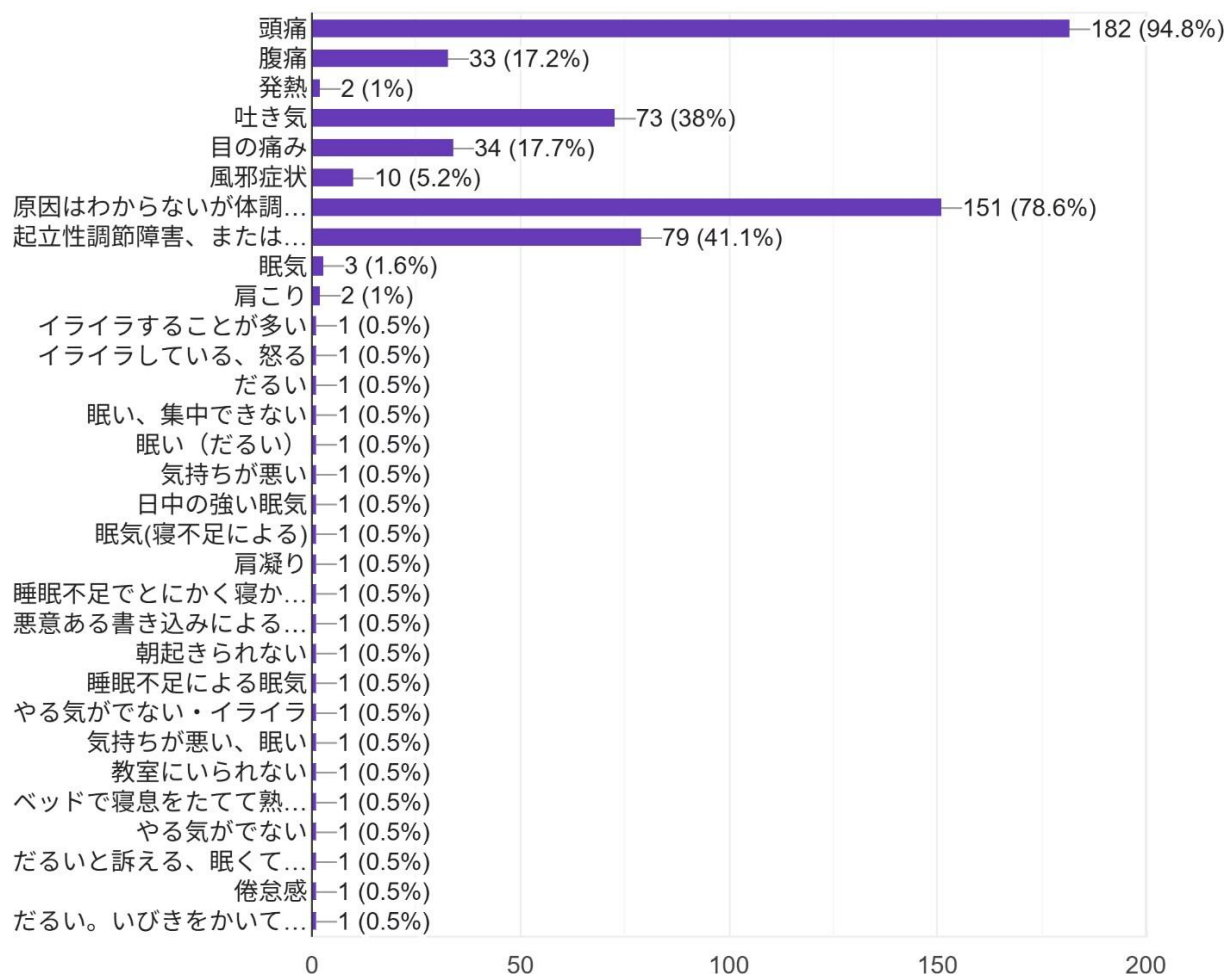


ここからは、経験年数が1年未満の方は、着任して今までの期間で、また、異動初年度の方は、前任校の状況なども併せて、それ以外の方も、ここ2~3年の児童生徒の様子をお答えください。

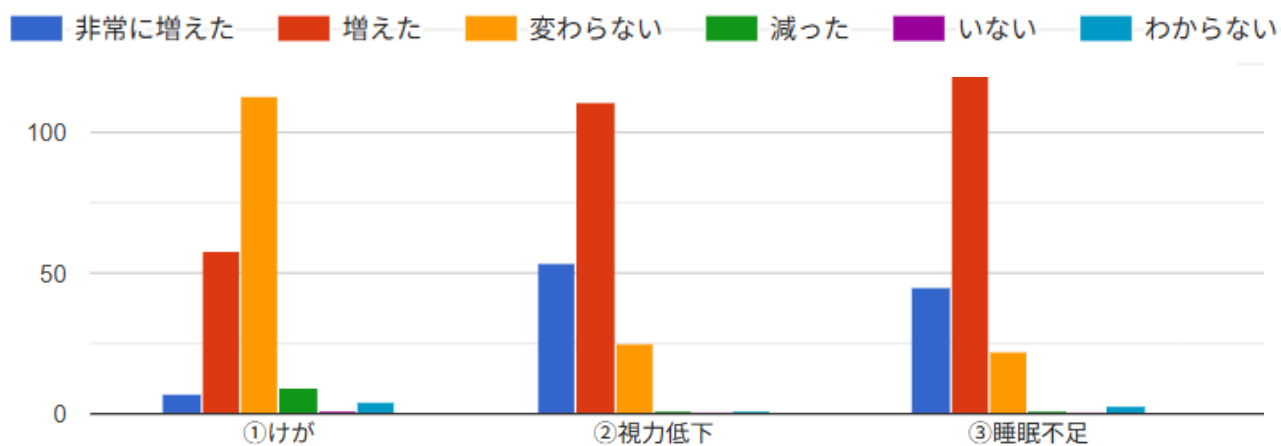
5 あなたの養護教諭としての経験年数 192 件の回答



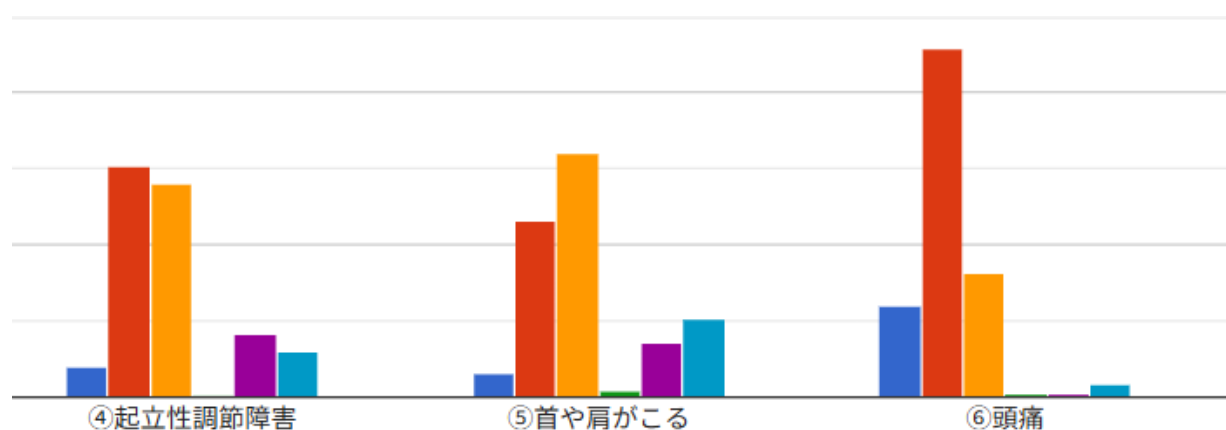
6 保健室を利用する際の症状について ネット...にはどのような症状が見られますか（複数回答可）
192 件の回答



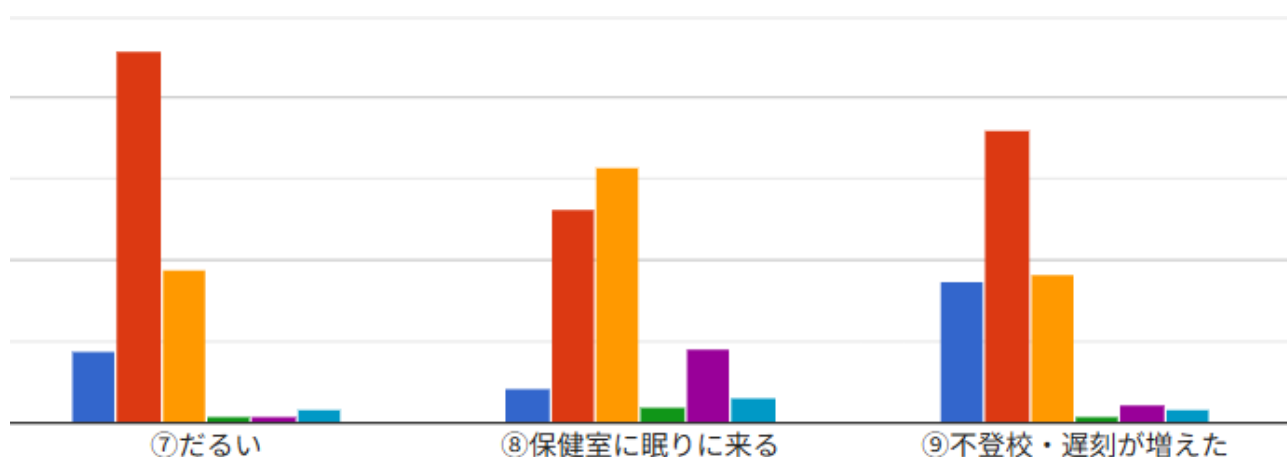
7 最近、次のような児童生徒は増えていると感じますか。



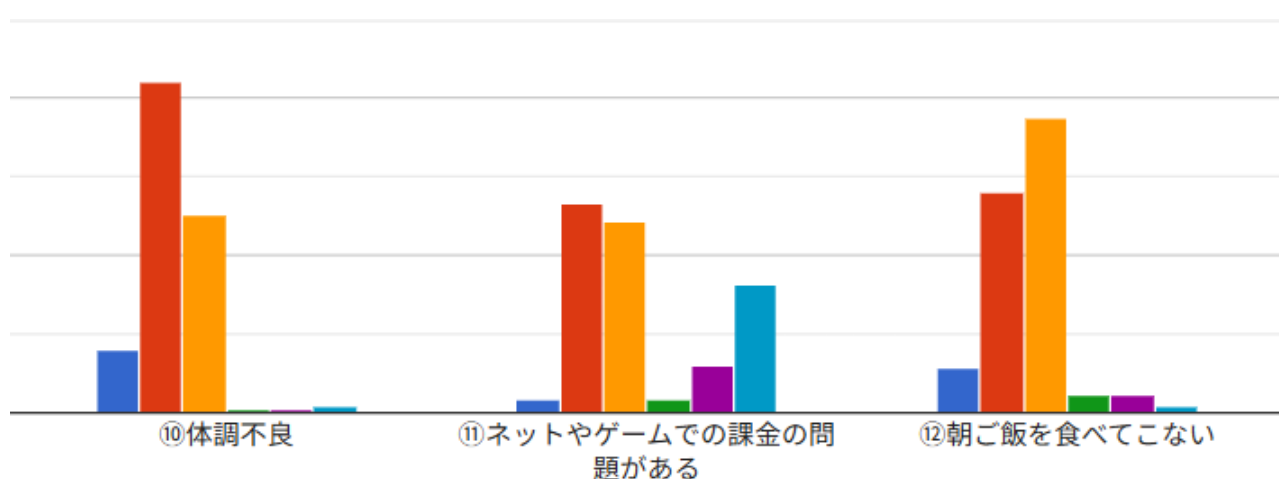
■ 非常に増えた ■ 増えた ■ 変わらない ■ 減った ■ いない ■ わからない

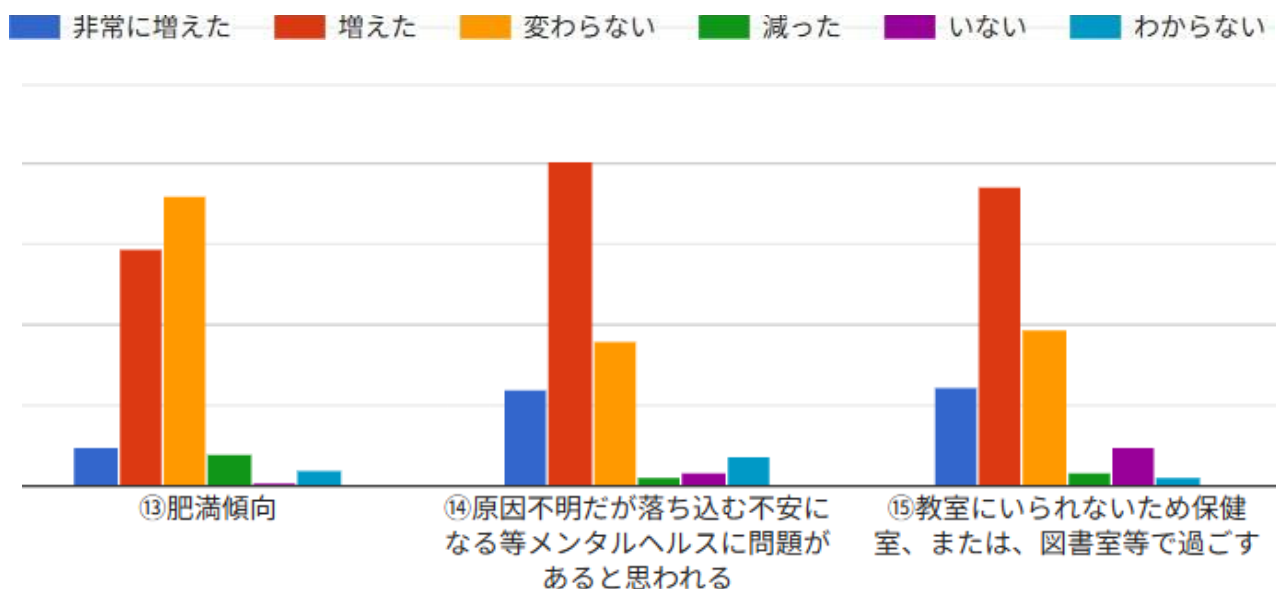


■ 非常に増えた ■ 増えた ■ 変わらない ■ 減った ■ いない ■ わからない

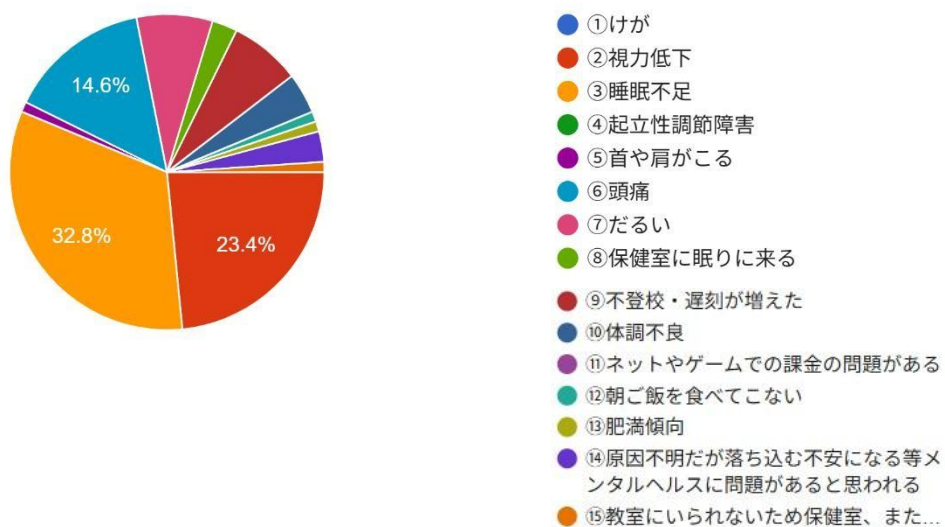


■ 非常に増えた ■ 増えた ■ 変わらない ■ 減った ■ いない ■ わからない



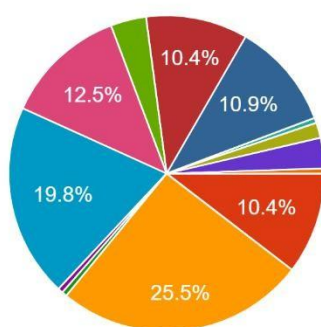


8-1 質問7の項目のうち、ネットやゲームの長時...あなたが1番多いと感じるものをお答えください。
192 件の回答



8-2 2番目に多いと感じるものをお答えください。

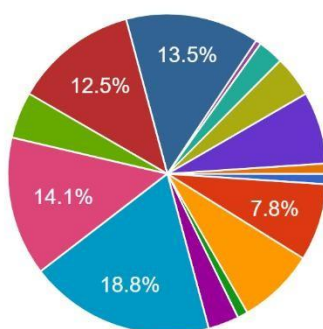
192 件の回答



- ①けが
- ②視力低下
- ③睡眠不足
- ④起立性調節障害
- ⑤首や肩がこる
- ⑥頭痛
- ⑦だるい
- ⑧保健室に眠りに来る
- ⑨不登校・遅刻が増えた
- ⑩体調不良
- ⑪ネットやゲームでの課金の問題がある
- ⑫朝ご飯を食べてこない
- ⑬肥満傾向
- ⑭原因不明だが落ち込む不安になる等メンタルヘルスに問題があると思われる
- ⑮教室にいられないため保健室、また...

8-3 3番目に多いと感じるものをお答えください。

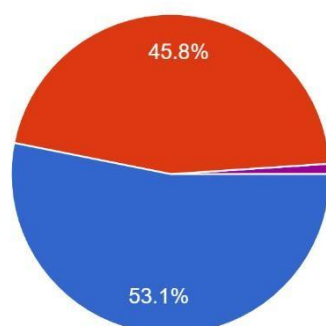
192 件の回答



- ①けが
- ②視力低下
- ③睡眠不足
- ④起立性調節障害
- ⑤首や肩がこる
- ⑥頭痛
- ⑦だるい
- ⑧保健室に眠りに来る
- ⑨不登校・遅刻が増えた
- ⑩体調不良
- ⑪ネットやゲームでの課金の問題がある
- ⑫朝ご飯を食べてこない
- ⑬肥満傾向
- ⑭原因不明だが落ち込む不安になる等メンタルヘルスに問題があると思われる
- ⑮教室にいられないため保健室、また...

10-1 養護教諭として児童生徒の健康問題に向き...る健康被害に関する啓発活動が必要と感じますか。

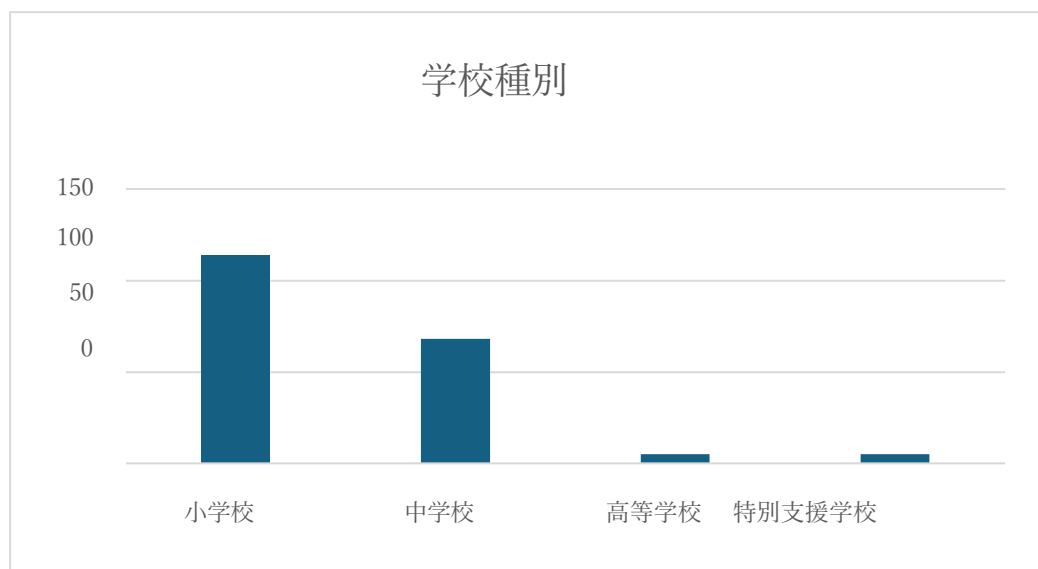
192 件の回答



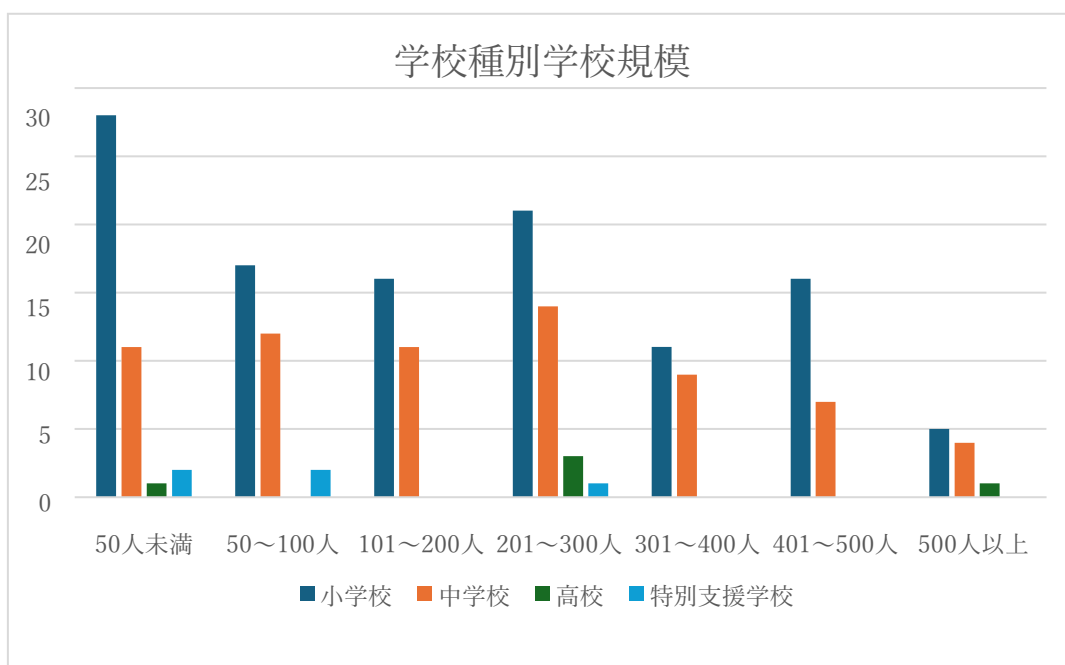
- ①非常に感じる
- ②感じる
- ③それほど感じない
- ④感じない
- ⑤どちらでもない

アンケート「保健室から見える子どもたち～メディアとの関わり」
経験年数による結果と症状の増加

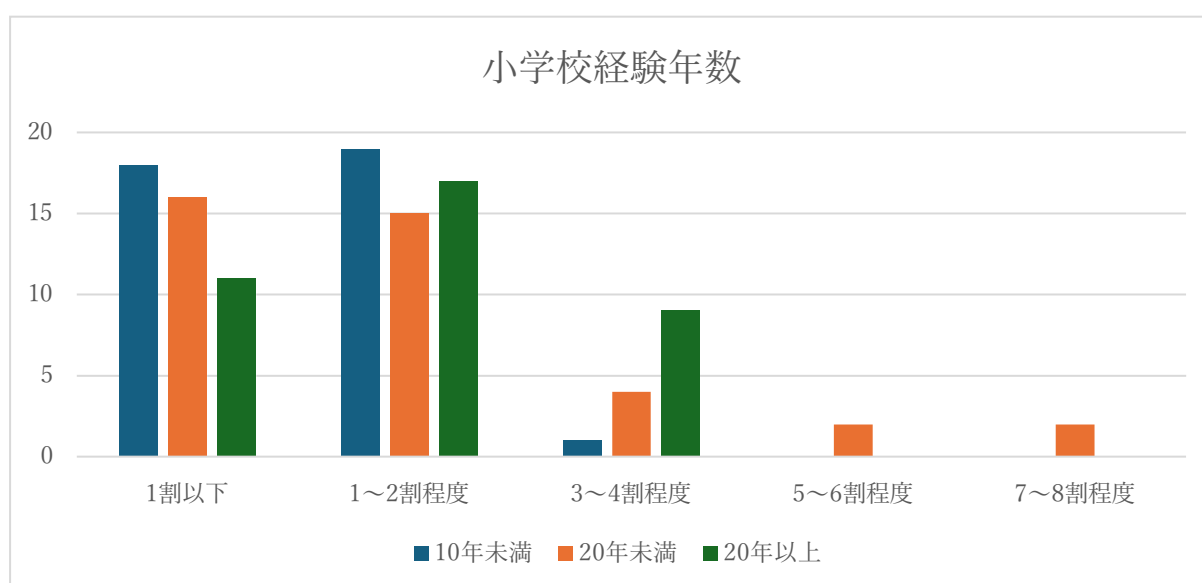
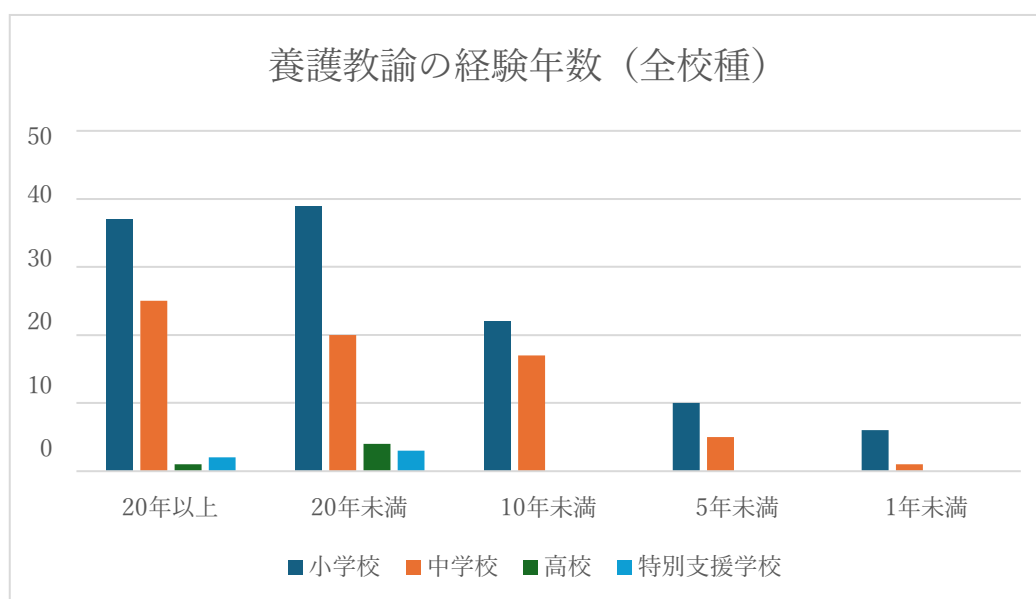
1. アンケート協力学校種別



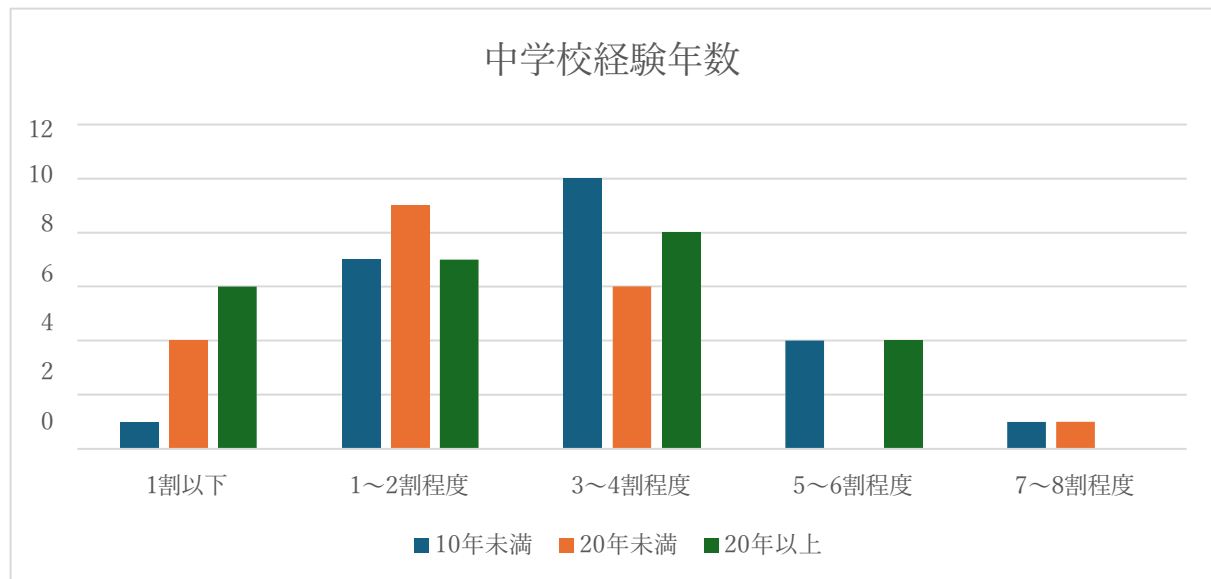
2. 学校種別学校規模



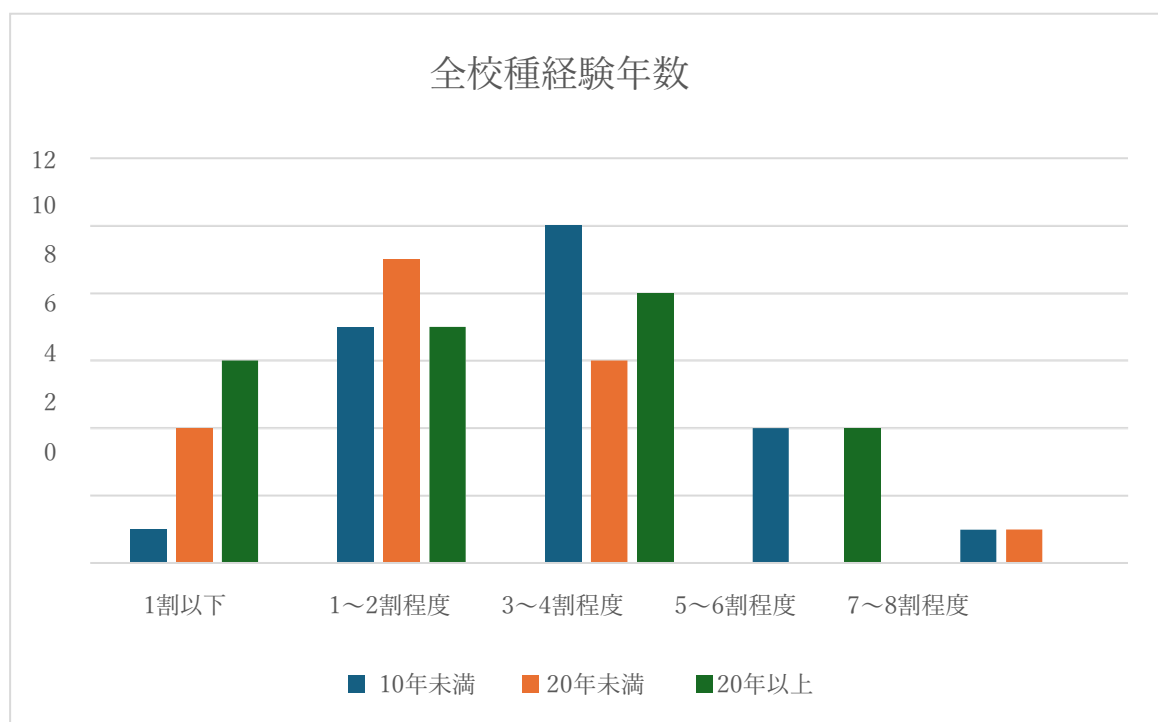
3. 養護教諭の経験年数



小学校の経験年数で見ると、経験年数が10年未満の養護教諭がほぼ全員が1割から2割以下で回答しているのにも関わらず、10年以上の経験年数の養護教諭になると割合が多くのがグラフから分かった。つまり経験年数が多いほど子ども達の変化が大きいと感じているようだ。

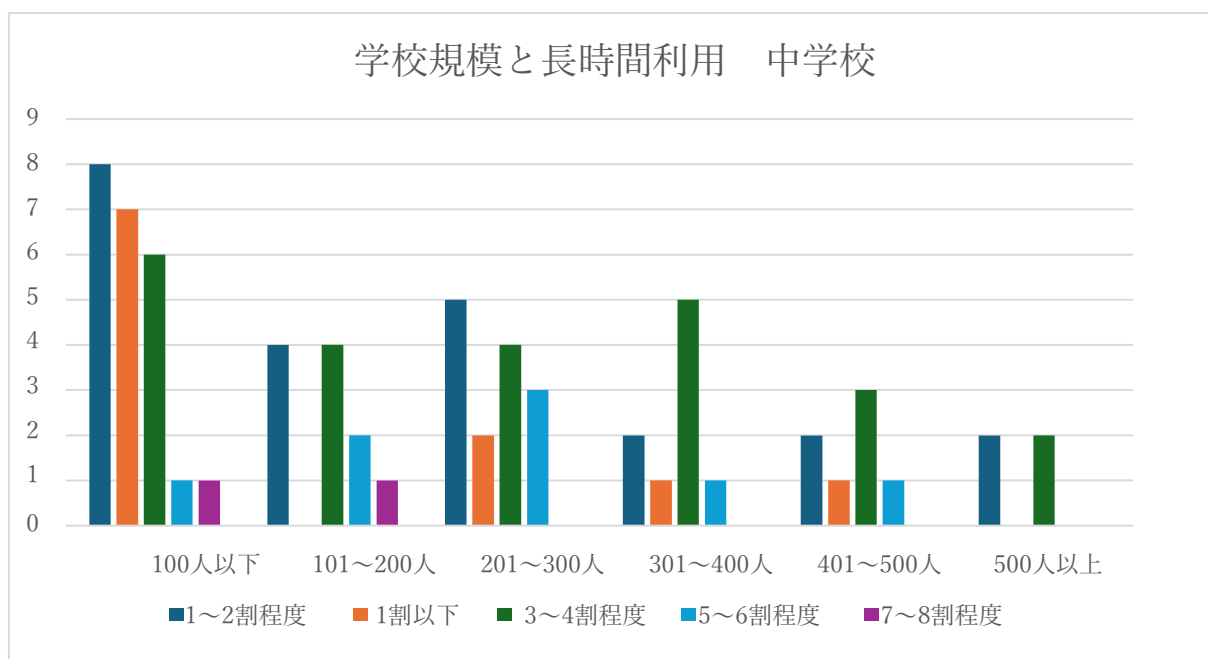
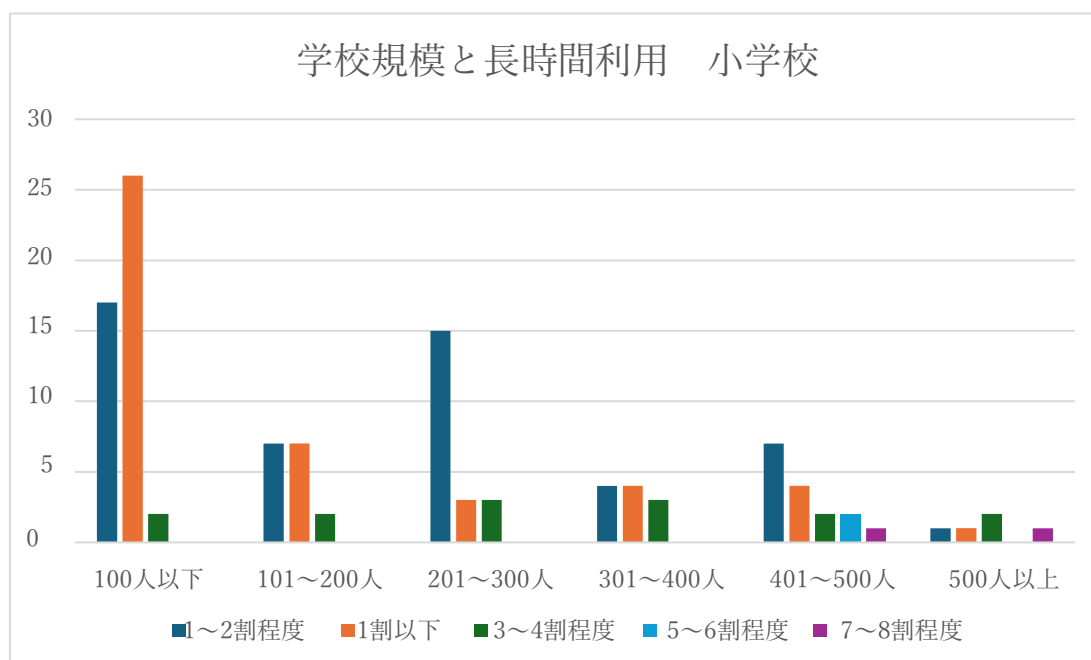


中学校では、ネット長時間利用傾向が増えるためか、経験年数 10 年以下の養護教諭のネット長時間利用者の保健室利用割合が増えているようだ。中学校も経験年数が増えるほど保健室利用割合が増える傾向にある。

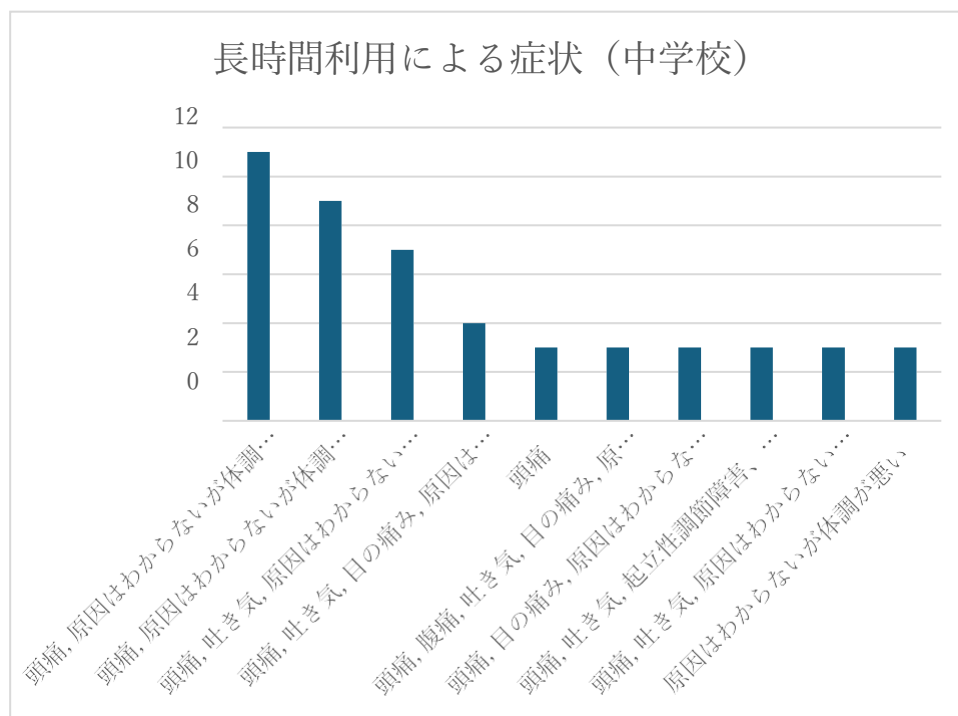
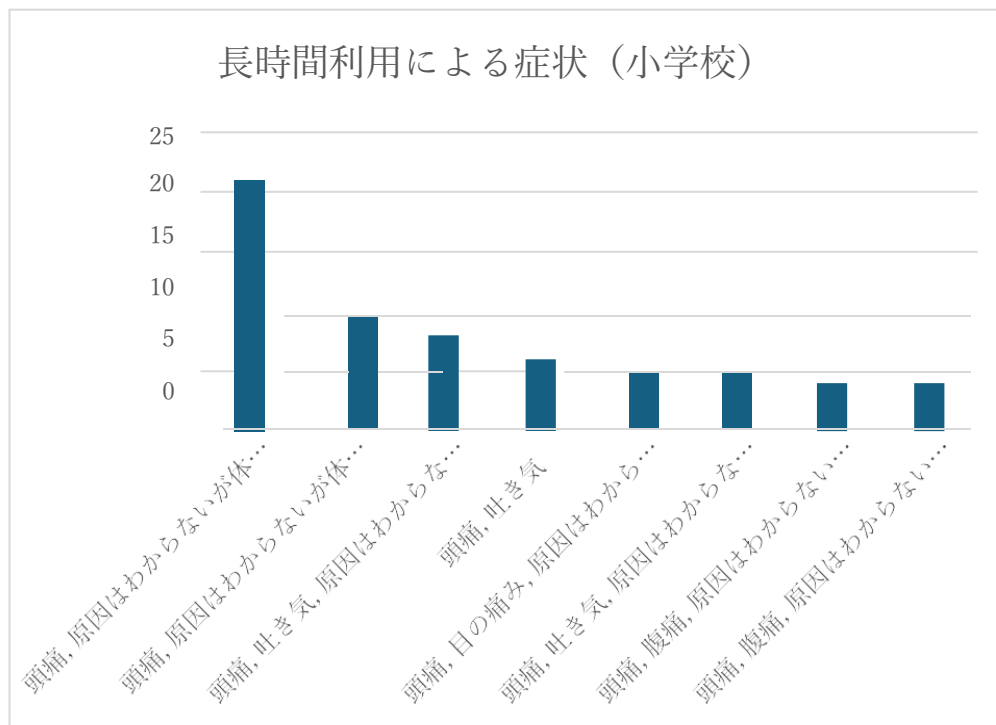


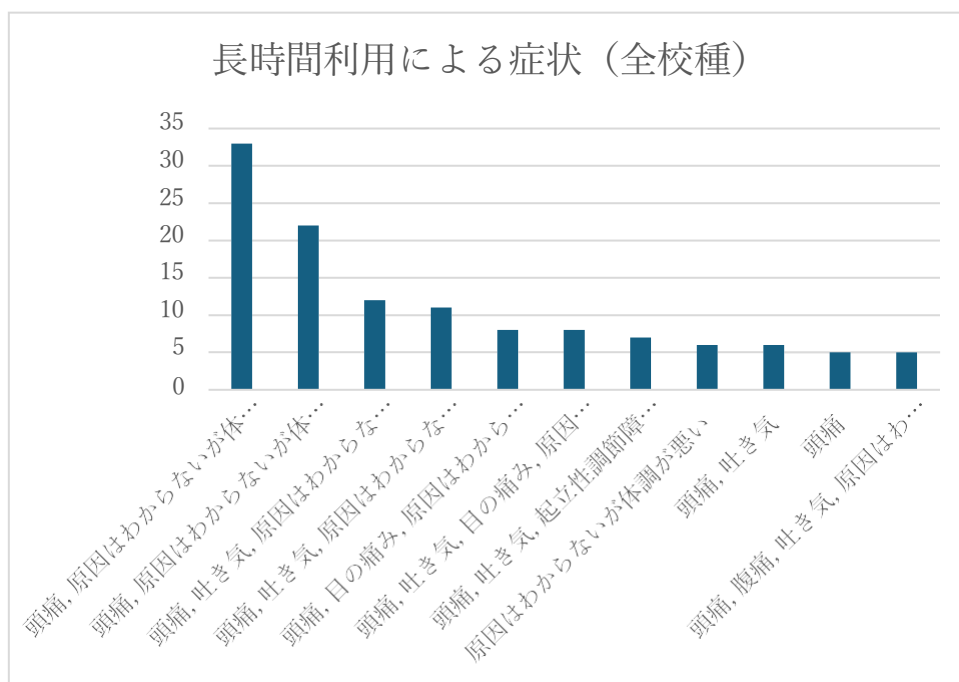
全校種で見ても中学校と同じ傾向があるように感じる。

4. 学校規模と長時間利用

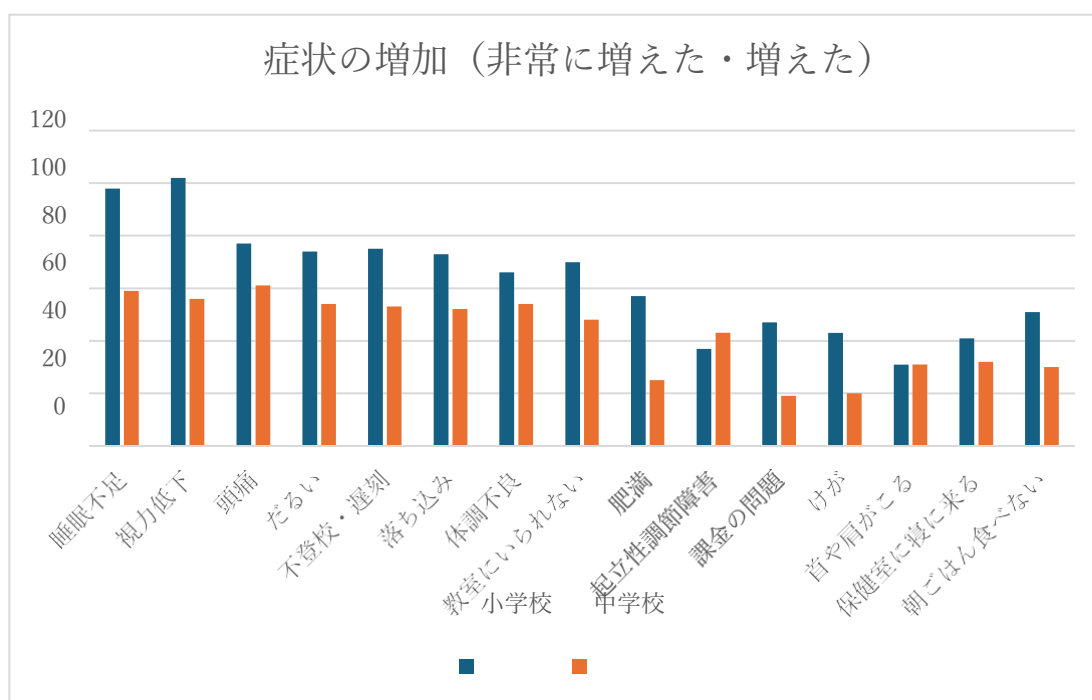


5. 長時間利用による症状





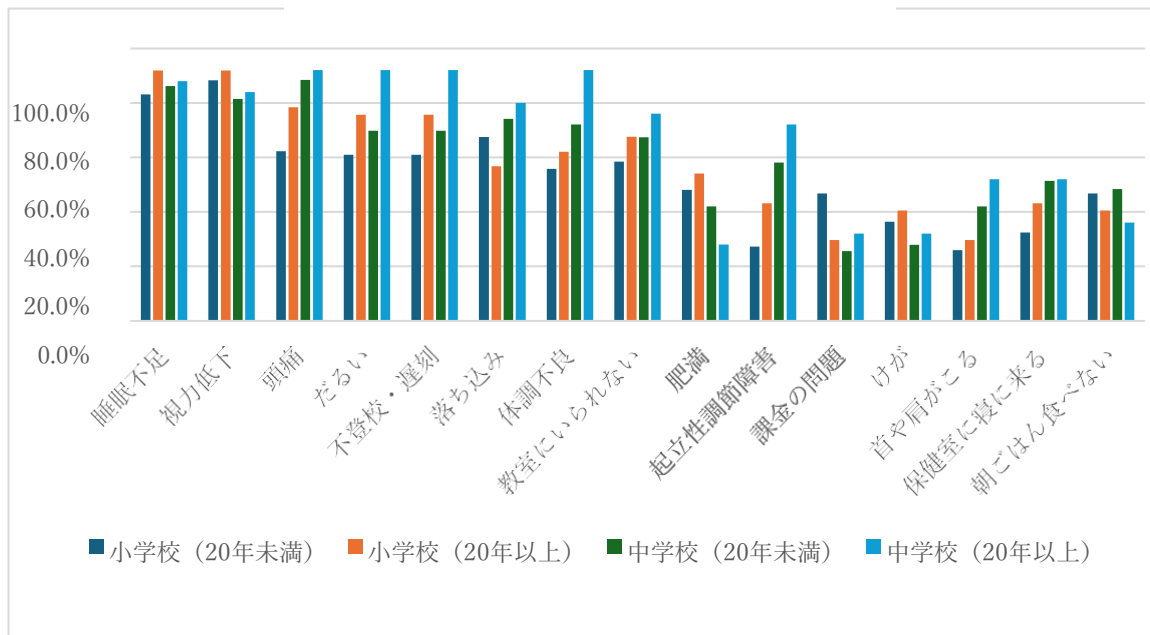
6. 症状の増加



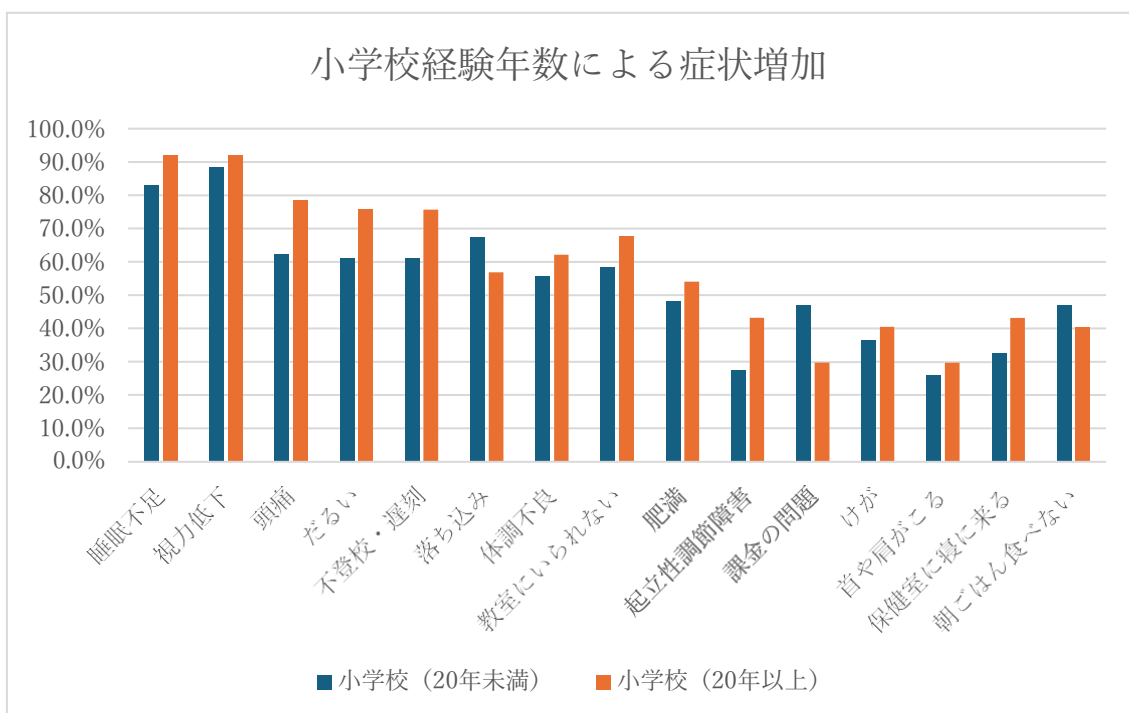
小学校6年間で心身の不調が中学生よりも大幅に増加する傾向がある。特に、睡眠・視力・疲労・不安・生活習慣の乱れなど、日常生活に密接に関わる症状で顕著な差が見られる。グラフの逆転は中学生の「起立性調節障害」が少し小学生の数値を上回るが、これにつきましては、小学校からの家庭での改善がみられず、生徒の症状から受診対応によって、「起立性調節障害」という病名がつけられる場合と、養護教諭の経験上の見立てになるのではないかと推察される。

7. 学校種別経験年数による種別増加

学校種別経験年数による種別増加

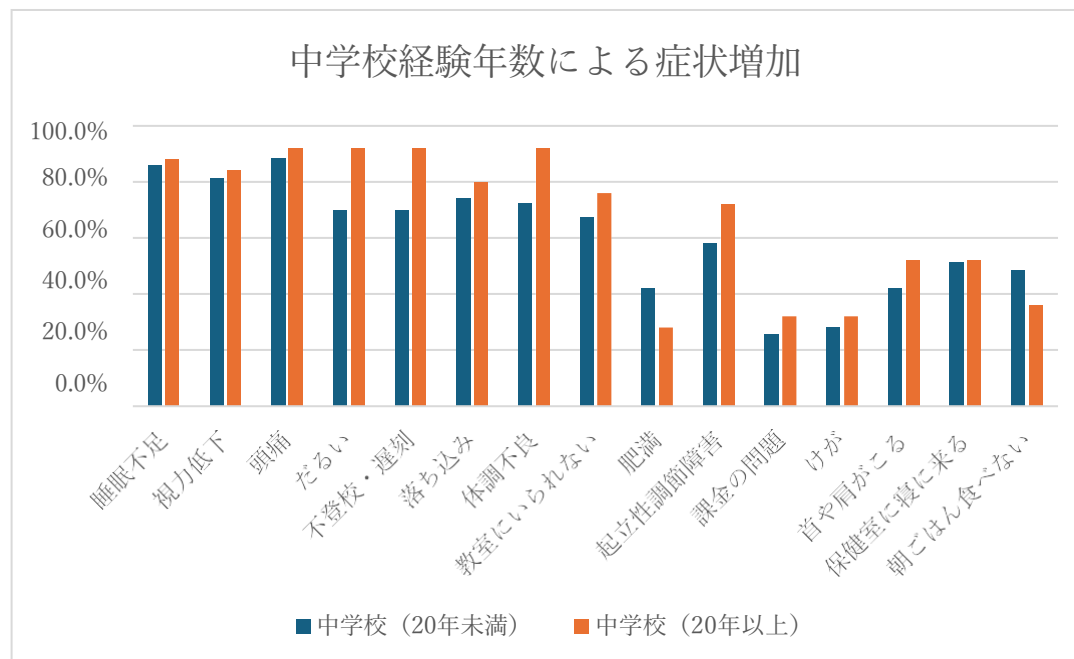


小学校経験年数による症状増加



小学校経験年数が 20 年以上の層（赤色バー）の方が、ほとんどの症状で高い割合を示している。

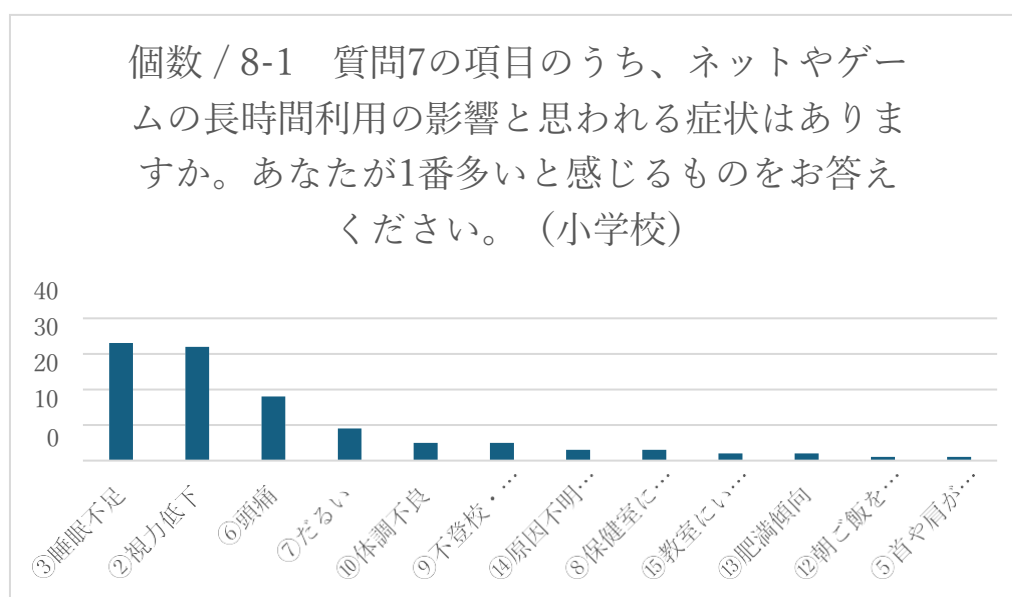
→ 長年教 🙋 現場に関わってきた人ほど、心身の不調を感じている可能性が高い。



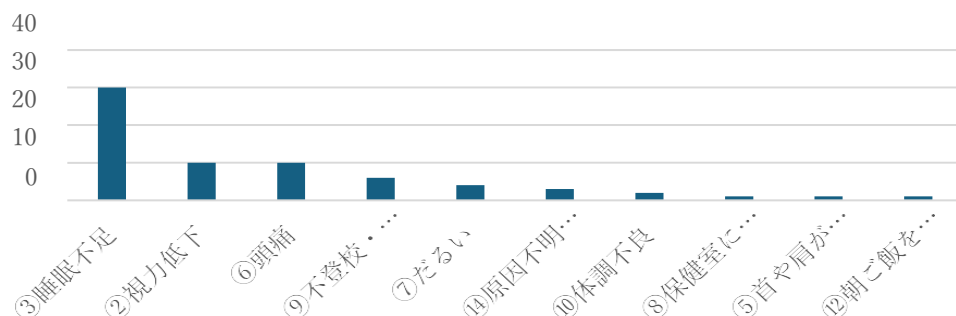
中学校経験年数が20年以上の層（赤色バー）の方が、ほとんどの症状で高い割合を示している。

→ 長年教 🙌 現場に関わってきた人ほど、心身の不調を感じている可能性が高い。

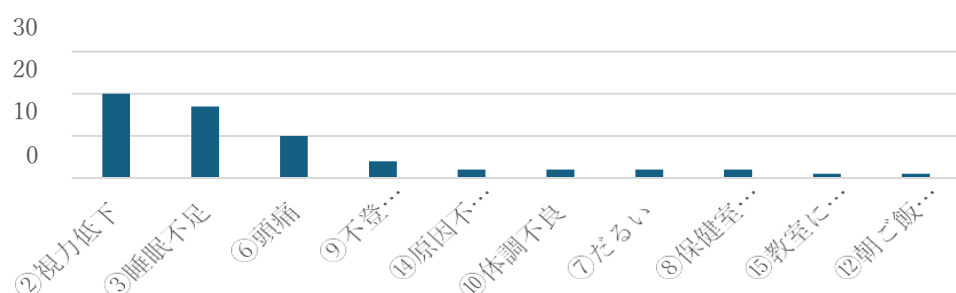
8-1 質問7の項目のうち、ネットやゲームの長時間利用の影響と思われる症状はありますか。あなたが1番多いと感じるものをお答えください。



個数 / 8-1 質問7の項目のうち、ネットやゲームの長時間利用の影響と思われる症状はありますか。あなたが1番多いと感じるものをお答えください。（中学校）



個数 / 8-1 質問7の項目のうち、ネットやゲームの長時間利用の影響と思われる症状はありますか。あなたが1番多いと感じるものをお答えください。（全学校10年未満）



個数 / 8-1 質問7の項目のうち、ネットやゲームの長時間利用の影響と思われる症状はありますか。あなたが1番多いと感じるものをお答えください。（全学校10年以上）

